

## ヨコハマ市民まち普請事業

### 第1次整備提案書

#### ※ 記入上の注意

- ① 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ② 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③ 位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料をA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。
- ④ 提案書、添付資料を審査員以外に配布する際は白黒コピーとなります。

<b>整備提案名</b> (25字以内)	長津田の樹木を利活用したアートワークプロジェクト
<b>提案グループ名</b> (25字以内)	長津田駅北側まちづくり協議会
<b>グループの現在の主な活動内容及び最近5年以内の活動実績</b>	昭和63年の協議会発足以来、長津田駅北側地区全体のまちづくりについてさまざまな提案、検討を行っています。 ・～平成20年 長津田駅北口地区再開発事業の推進母体として活動 ・他都市等のまちづくり先行地区の視察や関係団体との意見交換
<b>整備場所の所在地</b> (町名又は丁目まで記入)	緑区 長津田二丁目  ※位置図及び現況写真(各A4判1ページ)を添付してください。
<b>整備提案の内容</b> (どのような整備を提案するのか文章で記入してください)	再開発事業区域内には、昭和20年代から地域住民の安らぎの場となって長年親しんできた樹木が複数あります。樹木は再開発事業により撤去される予定ですが、中には移植が困難で伐採せざるを得ない樹木もあります。 これらの樹木を対象に、 「①樹木については、市民・企業を問わず引き取り先を広く募集して出来る限り多くの本数の移植を実現すること」、 また移植できなかった樹木については、「②その伐採材を新たなかたちで地区のシンボルとして再生させ長く活用していくことを目的とした、地域住民主体のアートワークプロジェクト」を行います。 ②については、地域住民を対象に参加者を募り、ワークショップ形式により伐採材を利用したベンチやブロックレリーフ、表札などを製作します。ワークショップを通じて、大人・子どもを問わず、工作を楽しみながら作業し、完成後は大型のものは再開発区域の内外に設置するほか、小さなものは持ち帰っていただくことを想定しています。 整備費用の概算額：約 550万円 ※添付資料として整備提案のイメージ図を添付することができます。(記入上の注意③)
<b>整備提案の動機や背景</b> (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再開発事業区域内にある樹木の記憶継承と伐採材の利活用。</li> <li>・工作体験を通じた親子の絆の強化支援。</li> <li>・地域の将来を担う子供たちへの、積極的な地域活動機運の涵養。</li> <li>・アートワークの協働体験を通じた、地域住民の良好なコミュニティの育成支援。</li> <li>・変貌を遂げつつある長津田駅北口地区における、新たな愛着ある場所づくり。</li> </ul>

<p><b>整備の効果</b>  (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内の樹木の移植活動や、伐採材を利活用することにより、次世代を担う子どもたちに対し「地域のまちづくりへの積極的参画」「自然への感謝」、「ものを大切に使うこと」、「地域の歴史の継承」や「木材利用によるCo2削減」に係る意識の涵養・向上を図っていきます。</li> <li>・伐採材で製作したベンチ等を再開発ビル周辺に設置し、長津田に住まう人・訪れる人に休憩や憩いの場を提供します。</li> <li>・同様に製作したブロックレリーフや表札を各家庭で利用していただくことにより、親しまれてきた樹木の記憶を継承していきます。</li> </ul>
<p><b>整備した施設の維持管理・運営</b>  (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか?)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移植樹木や製作した作品の寄贈を受けた者(再開発ビル、企業、自治会、各家庭等)が管理・保全等していきます。</li> <li>・提案グループは、ワークショップを企画運営するほか、全工程を記録して記念誌を作成し、参加各自治会に配布します。</li> <li>・ワークショップを通じて培われたコミュニティの輪を活かし、提案グループが核となって、再開発により新たに入居してくる新住民を温かく迎えるとともに、住みよく暮らしやすい『新しい長津田』のまちづくりに向けた活動を推進していきます。</li> </ul>
<p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ  ○提案を実現するために活用する地域の資源  注4)  ○その他提案について特にPRしたい点</p>	<p>○再開発事業の実施に併せた事業であること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該樹木は平成22年度内に伐採を予定しており、時期的にはこの機を逃すと実現することができない事業です。</li> </ul> <p>○地域の資源</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒト」…地域のPTA、子供会から協力を受けられそう。  地域住民にワークショップ参加経験者が多い。</li> <li>・「モノ」…樹木及び伐採材は無償で入手できる。(所有管理者や再開発事業施行者の協力が得られる)</li> <li>・「カネ」…バザーなどで資金を集められそう。</li> </ul> <p>○当地区は歴史のある地区ですが、昨今の住宅開発により新たな住民が増加しており、地域内の円滑なコミュニティづくりが課題となっています。また、転入世代が若く子どもも多いため、未来に向けた新たな『ふるさとづくり』の活動の契機として期待できます。</p>

注4)「地域の資源」とは、次のようなものを想定しています。

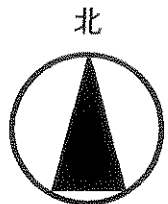
- |         |                         |                       |
|---------|-------------------------|-----------------------|
| ○「ヒト」の例 | ・地域から協力を受けられそう。         | ・地域に設計の専門家がいる。        |
| ○「モノ」の例 | ・整備に必要な材料を安く入手できそう。     | ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。 |
| ○「カネ」の例 | ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 | ・バザーなどで資金を集められそう。     |

整備場所の地権者等 <sup>注5)</sup> への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
横浜市住宅供給公社(長津田駅北口地区再開発事業の施行者)	・事業工程の調整など、出来る限りの協力をします。
横浜市都市整備局市街地整備推進課(既存樹木等の所有管理者)	・樹木の移植や利活用に協力をします。

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者(会社や行政機関も含む)

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。



位置図  
縮尺 1 : 5,000

現況写真



【 広場の南西から撮影 】



【 広場内から撮影 】

整備提案イメージ

